



*海老名教会に繋がっている方々へ 共にお祈りを合わせましょう！

6月10日(水) 創世記4章1~7節 讃美歌21-533

主はカインに言われた。「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」(創世記4:6,7)

アダムと妻エバの間に二人男の子が生まれました。長男であるカインの名は「わたしは主によって男の子を得た」という意味で、神様への讃美と期待が込められています。次男アベルの名は「空気、無」で、喜びと命がない、希望がない名前になっています。成長した二人はそれぞれ自分が働いて得たものを神様に献げました。しかし、神様はアベルとその献げ物に目を留められました。カインとその献げものには目を留められなかったのです。その理由についてここでは語られていません。新約においては、アベルは信仰によって献げ、神様に正しいとされた者として書かれています(ヘブライ11:4、Iヨハネ3:12)しかし、どちらを受け入れ、選ぶかは神様の御自身の自由です。神様のそのような受け入れ方に怒りを感じたカインですが、その怒りを支配し、正しいほうを選ぶか、待ち伏せて誘惑する者に従うかは、人間に与えられた選択であるのです。ときには、不平等に思われるこの世のことや理解できないことの前で、それでも信仰をもって主に委ねるか、自分の感情と意のまま、神の存在を無視して生きるかは、私たち自身に与えられている選択です。

私たちが唆す悪の力に負けて従うのではなく、それに打ち勝つ主の力を求めて、私の感情や思いを支配する者でありましょう。

<祈りの課題>

1. 6月14日から始まる、海老名教会の礼拝に聖なる霊が豊かに注がれますように。主の御導きと祝福を祈りましょう。
2. 海老名教会の一人一人の信仰と健康が守られますように。主に守られ、喜びと平安のうちに歩まれる日々でありますよう祈りましょう。
3. 日本だけではなく、全世界の教会が、この試練の中で主のみ言葉を力強く示し、伝道の業を成し遂げていくことができますよう祈りましょう。
4. コロナ・ウィルスの試練が、人間相互間の愛と絆を一層強める機会となりますに。また、自然と正しく向き合う知恵を得ることができますよう祈りましょう。
5. 医学的に良い結果が得ますように。研究に励んでいる人々のために祈りましょう。そして、コロナ・ウィルスの患者のために治療を行い、看病や世話をする人とその家族のために祈りましょう。
6. 今、病に苦しんでいる人々、また、不安と孤独の中にいる人々、経済的に苦しみを覚えている人々のために祈りましょう。
7. 子どもや高齢者、障害を持っている人々が、社会の苦しい状況の中でも守られますよう祈りましょう。

